

# 令和3年度 学校経営計画

東京都立羽村特別支援学校長

田口 克己

## 1 目指す学校

### 一人一人の可能性を尊重し、生きる力を育てる学校

我々は、一人一人の児童・生徒における自己の価値についての意識を十分に発達させることを基盤として、地域社会の一員として生きる力を育み、自立と社会参加を支援する学校を目指します。

#### 【教育目標】

- ① **知識・技能**を身に付け、**豊かな心と健やかな身体**を養い、**学び続ける意欲と態度**を育てる  
知 徳 体 探究心 【主に教科指導】
- ② 自らの**能力**を発揮して、**新たな課題を解決しようとする態度**を育てる  
思考・判断・表現 創造性 【主に合わせた指導】
- ③ **社会の中でより良く暮らし働く態度**を育み、**自分らしく生きる力**を育てる  
社会参加・人と一緒に暮らす・社会貢献 幸せの実現 【教育活動全般・キャリア教育】

## 2 中期的目標と方策

児童・生徒の自立と社会参加への意欲を育み、その実現のために必要な知識・技能、能力（思考・判断・表現）、態度及び習慣を養う主体的な学びを支援する。

さらに、職業教育や余暇活動につながる様々な表現活動の充実を推進するとともに、通学区域内の特別支援教育を推進し、地域社会に共生社会の理念を広げるために、以下の方策に取り組む。

- (1) 児童・生徒の多様な障害の特性や発達段階について実態を捉え、必要な専門性を備えて、保護者と連携して児童・生徒一人一人のもてる能力や可能性を最大限伸ばす学習指導、自立と社会参加を目指した生活指導、進路指導を行う。
- (2) 児童・生徒の人権を尊重した教育を推進し、体罰を根絶するとともに、いじめの防止・早期発見に努め、安全・安心な教育環境を確保する。
- (3) 福祉・医療機関等と連携し、保護者の協力のもと、児童・生徒の健康・衛生の保持・増進を目指し、安全で健康的な活力ある生活を送るための基礎を培う。
- (4) 特別支援教育のセンター校として、東京都教育委員会及び地域行政と連携しながら、地域の障害のある子供や保護者、保育園、幼稚園、小・中学校、高等学校の支援を行う。
- (5) 東京都コンプライアンス基本方針を徹底し、役割と責任を明確にした効果的で組織的な学校経営を進める。

## 3 今年度における取組目標とその達成に向けた具体的方策

- (1) 《大切にしたい3つの基本》 【人権・学び・態度】の羽村

- ・人権 → 白梅学園大学 堀江 まゆみ 教授
- ・学び → 上越教育大学大学院 村中 智彦 教授
- ・態度 → 東京学芸大学 菅野 敦 名誉教授

上記3名の有識者を招聘して、羽村の《大切にしたい3つの基本》の充実に努める。

基本1：人権教育を成立させる基盤の強化 → 磨き続ける人権感覚

- A 学校組織づくり（学校が変わる） → 分掌・委員会組織を活かした再確認事項や課題の拾い上げ
- B 教員の資質向上（教師が変わる） → 講師招聘研修会・人権教育への助言（大学教授）
- C 地域・家庭連携（地域が変わる） → 特別支援教育コーディネーターを中心とした地域支援・理解啓発
- D 学習・授業づくり（子供が変わる） → 教科指導研究（研究研修部）、自尊感情を育む授業づくり

基本2：学びの環境づくり

- ① 『失敗できる環境づくり』 三匹のカエル（かんガエル・まちガエル・ふりカエル）
- ② 『ワクワクする授業づくり』 肯定的な指導・言葉かけ、褒められる・評価される経験

基本3：態度の育成【ひと回り成長する自分へ】12年間 → (4年+4年+4年)の発想

- ① 主に小学部1年～4年 → 『できる喜びを自信に変えて』（わかった、できた、よし次も）
- ② 主に小学部5年～中学部2年 → 『かけがえのない自分づくり』（なりたい自分にチャレンジ）
- ③ 主に中学部3年・高等部全学年 → 『変えていける自分へ』（いつでも、どこでも、だれとでも）

(2) 《大切にしたい3つのキーワード》

- 1 『ここちよさ』 安全・安心、自尊感情、自己肯定感、自己有用感、居場所、あたたかさ、認め合い、多様性の尊重、達成感、良好な人間関係、自己表現、自己決定 など
- 2 『たしかさ』 指導に活かすアセスメント、個々の実態の共有、根拠のある指導、専門性の向上、外部専門員との連携、スモールステップ、教育課程の系統性 など
- 3 『わかりやすさ』 見える化、構造化、分かる授業、保護者・地域への説明と情報発信 など

(3) 教育活動の目標と方策

ア 学習指導

児童・生徒の自己の価値意識を高められるように自己研鑽に励み、人権尊重教育を基に障害の状態等の理解を深め、教育的ニーズを的確に把握し、分かりやすい見通しとスモールステップで進める指導を実施するために、以下の方策に取り組む。

- (ア) 教科会の充実による新学習指導要領に合わせた【羽村の学び】（シラバス）の作成とカリキュラム全体の検証
- (イ) 根拠ある指導のためのアセスメントの実施と個々の実態の共有
  - ・ NCプログラム、太田ステージ → 小学部・中学部
  - ・ 就労準備チェックシート → 高等部
  - ・ バインランドⅡ → 小5・中1・高1
- (ウ) アセスメントを取り入れた指導計画の作成・実施・評価・改善のPDCAサイクルの充実
- (エ) 研究授業等の奨励（全員研究授業の実施）
- (オ) 専門性向上のための各種研修の実施
- (カ) 外部専門員（発達心理士、作業療法士、言語聴覚士等）の計画的活用
- (キ) デジタルサポーター等と連携したICT機器活用による授業改善やオンライン学習への取組
- (ク) 総合型学習支援サービス(Microsoft Office 365)及びGIGAスクール端末(小・中学部)の積極的活用
- (ケ) 教材開発アドバイザーの積極的活用と教材ライブラリーの充実
- (コ) 就労支援アドバイザー及び進路指導部の情報による作業学習の指導内容の改善
- (サ) 作業リーダー会を中心とした校内・校外でのコラボレーションの推進と作業販売会の実施
- (シ) 「学校2020レガシー」の構築を見据えたオリンピック・パラリンピックの意義や諸外国文化の学習とスポーツを愛好する態度の育成、及び近隣の小・中学校との交流活動の充実
- (ス) 保護者が参加しやすい授業参観期間の工夫

## イ 生活指導

社会的規範を理解し、安全を守る力や自分を律する力を備え、良好な人間関係を築き、学校での生活や学習活動を充実させ、児童・生徒が意欲をもって登校する学校を目指すために、以下の方策に取り組む。

- (ア) 教員の資質向上(教師が変わる)を目的とした、人権感覚を磨き続けるための講師招聘研修
- (イ) 安全対策・事故の未然防止のためのヒヤリハット事例の収集・分析
- (ウ) 体罰防止といじめ防止基本方針に基づくいじめ防止・早期発見対応
- (エ) 自殺予防の相談の充実と家庭との連携の強化
- (オ) 心理士等の外部専門員と連携した生徒指導・相談の充実
- (カ) 特別支援教育コーディネーターと連携した支援会議の充実
- (キ) 警察・消防等と連携した大規模災害想定防災訓練・安全指導の実施と保護者周知の徹底
- (ク) 警察等地域関係機関と連携した健全育成の実施
- (ケ) 学校と施設のより良い関係性構築に向けた施設連絡会の開催
- (コ) 多様な進路選択の実現に向けた一人通学指導の推進
- (サ) 危機管理に関する迅速な情報提供と共有・対応

## ウ 進路指導

12年間を見通したキャリア教育(ライフキャリア・ワークキャリア)に関する指導の充実を目指し、児童・生徒が「生きる」「学ぶ」「働く」「暮らす」といった自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる知識・技能、能力(思考・判断・表現)、態度を身に付けていくことができるよう、各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図る。

その中で、児童・生徒が自己の在り方・生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、組織的かつ計画的な進路指導を行う。

さらに、進路に関する適切な情報提供と必要な説明責任を果たし、児童・生徒を中心に保護者・担任・進路担当の各々が協力して合意形成を図りながら、より良い進路を実現するために以下の方策に取り組む。

- (ア) 小学部・中学部における「日常生活の指導の手引き」を活用したライフキャリアへの取組
- (イ) 高等部における「就労準備チェックシート」を活用したワークキャリアへの取組
- (ウ) 小5・中1・高1で実施する「バイナランドⅡ」の結果を基に、自己の「強み」と「弱み」を視覚化し、より具体的な進路指導への取組
- (エ) 外部講師を活用したビジネスマナー講習会等の実施
- (オ) 都の組織や関係機関と連携した新規実習・就労先の確保
- (カ) 福祉事業所・企業(特例子会社含む)等と連携した効果的な実習
- (キ) 希望する進路の実現と企業就労対象生徒の企業就労の達成
- (ク) 関係機関と連携した卒業後の職場定着支援の充実
- (ケ) 教員に向けた進路に関する情報提供・見学会及び研修の充実
- (コ) 児童・生徒、保護者に向けた進路に関する情報提供・見学会の充実
- (サ) 地域別懇談会の実施
- (シ) 進路だよりの発行

## エ 体づくり・食育・健康教育

規則正しく、健全で健康的な生活ができる児童・生徒を育成する観点から、以下の方策に取り組む。

- (ア) 救急救命講習、食物アレルギー対応訓練の全員実施
- (イ) 日常生活の指導や体育の授業を通して系統的な体づくり(姿勢保持、行動体力など)の取組
- (ウ) 東京都統一体力テストを活用した個人目標の設定と取組
- (エ) 給食のしおりに基づく安全・安心な給食指導の徹底
- (オ) 外部専門員による摂食指導と摂食研修の実施
- (カ) 栄養士や養護教諭による食育・健康指導の実施
- (キ) 学校保健委員会による健康教育の改善・充実
- (ク) 関係機関と連携した歯科保健指導の実施
- (ケ) 感染症予防に向けた迅速かつ組織的対応と習慣形成
- (コ) 医療的ケア体制及び根拠ある形態食体制の整備

## オ 特別活動・部活動及びスポーツ振興

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員として、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。

「暮らし」の中の余暇活動を意図した表現活動の充実を図り、人間としての在り方・生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養うため、以下の方策に取り組む。

- (ア) 学年活動(小・中)、ホームルーム活動(高)及び各行事の充実と保護者参観への情報提供
- (イ) 地域人材活用による部活動指導の充実
- (ウ) 運動部の各種大会への積極的参加
- (エ) 文化部や作業班による社会貢献活動の実施
- (オ) 各団体と連携したスポーツ及び文化的活動の機会の拡充とその活動への貢献

## カ 特別支援教育のセンター的機能

地域の障害のある子供や保護者、保育園・幼稚園、小・中学校、高等学校の支援のため、以下の方策に取り組む。

- (ア) 個に応じた適切な就学・進学と、計画的で分かりやすい相談手続きを実施
- (イ) 西部地区都立学校総合支援連絡協議会への参加(進路指導部とコーディネーター)
- (ウ) 通学区域内の特別支援学級等への授業巡回等による相談・支援
- (エ) 各市町教育委員会と連携した理解啓発研修会の実施と出前授業の実施
- (オ) コーディネーター連絡会の計画及び実施
- (カ) 副籍事業の推進と支援及び各種交流活動
- (キ) パートナーシップガイドの作成と配付
- (ク) 就学前施設見学会の計画・実施
- (ケ) (障害のある人々の豊かな地域生活と社会参加を促進する)本人講座の実施
- (コ) (障害のある人々の地域活動を支援する人材育成を目的とした)ボランティア養成講座の実施
- (サ) 教材展示会の実施

## キ 学校経営・組織体制

保護者や地域に信頼される学校を目指して、教職員の服務規律遵守の意識向上を図り、適正な教育課程の編成・実施・評価と、施設・環境の整備や計画的な自律経営推進予算の編成・執行、委託業者等関係者との連携、学校の大規模化、自然災害など様々な課題に対し、公正かつ効率的な学校経営を目指す。さらに、職員会議の上限時間を設定するなど、各種会議の時間短縮や校内の業務効率化に向け、各部署への的確な指示とスピーディーな判断に努め、昨年度より教職員の在校時間が短縮されることを目指して、以下の方策に取り組む。

- (ア) 教職員の意識向上のためのコンプライアンス研修の実施
- (イ) 学校運営連絡協議会による学校評価に基づく運営改善
- (ロ) 各分掌・委員会の担当主任による年間計画に基づく進行管理の徹底とリーダーシップの発揮
- (ハ) 円滑な業務遂行及び引継ぎのための正・副担当体制の構築
- (ニ) 若手教員の研修指導の組織的な実施
- (ホ) 教育内容の精選による適正な会計処理の推進
- (ヘ) スクールバス連絡会及び給食業務委託連絡会の定期的な実施
- (ヘ) 産業医や安全衛生委員会及び相談センターを活用した教職員の健康管理の徹底
- (コ) 定期的な定時退庁日の設定と計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底し、教職員一人一人の「ライフ・ワーク・バランス」の実現
- (カ) 学校マネジメント強化モデル事業への取組
- (キ) 学校の大規模化や自然災害などの対応について教育委員会との連携
- (ク) より一層の情報共有のための経営企画室による経営参画
- (ク) 学校ホームページ等による積極的情報提供

## (4) 重点項目と数値目標

### ア 学習指導

|                      |   |
|----------------------|---|
| 学期ごとの授業参観期間の実施       | 合計 9 日間(6/30-7/3 : 3 日, 9/21-24 : 3 日, 1/17-19 : 3 日) |
| 土曜参観日の設定             | 10/23(土)  |
| 全員研究授業の実施            | 200 回以上   |
| 教材制作研修会の実施           | 5 回以上   |
| 外部専門員の活用             | 1500 時間以上   |
| 作業製品の地域販売            | 7 回以上   |
| 就労支援アドバイザーによる作業学習の改善 | 12 回以上  |
| 各学部オリ・パラ教育の実施        | 各学部 35 時間   |
| 中学部ポッチャ大会の実施         |   |
| 特別支援教育免許保有率          | 90%以上   |

### イ 生活指導

|                              |             |
|------------------------------|-------------|
| 人権研修の取組                      | 講師招聘研修      |
| ヒヤリハット事例の収集・分析               | 150 件以上     |
| 地域と連携した宿泊防災訓練の実施             | 参加者 100 名以上 |
| 特別支援教育コーディネーターと連携した支援会議の充実   | ケースにより随時    |
| 定期的な施設連絡会の充実                 | 3 回以上       |
| 登下校に関する交通状況や天候による判断等の迅速な情報提供 | 随時          |

## ウ 進路指導

|                            |                         |
|----------------------------|-------------------------|
| 高等部卒業生全体の企業就労率             | 30%以上                   |
| 企業就労希望者就労内定率               | 90%以上                   |
| (生徒向け)進路先見学実施              | 中学部1年生:1回以上・高等部1年生:1回以上 |
| (保護者・教員向け)進路先見学実施<PTA主催含む> | 10回以上                   |
| (教員向け)進路研修実施               | 3回以上                    |
| (保護者向け)進路学習会の実施            | 4回以上                    |
| (PTAと連携した)福祉サービス学習会の実施     | 1回以上                    |
| (企業等関係機関向け)校内見学の実施         | 5件以上                    |
| 地域別懇談会の実施                  | 5市1町1回以上                |
| 進路だより発行数                   | 5回以上                    |

## エ 体づくり・食育・健康教育

|                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| 救急救命講習、食物アレルギー対応訓練        | 全員実施            |
| 東京都統一体カテストを活用した個人目標の設定と取組 | 高等部生100%        |
| 歯科衛生士による歯科指導実施            | 小1、小4、中1、高1にて実施 |
| 養護教諭による肥満・食育指導実施          | 10名以上           |
| 学校保健委員会による健康教育の改善・充実      | 夏季休業中講演会1回      |
| 外部専門員による摂食指導と摂食研修         | 夏季休業中研修会1回      |
| 精神科相談の実施                  | 11回             |

## オ 特別活動・部活動及びスポーツ振興

|                        |           |
|------------------------|-----------|
| 各学部の学年活動及び行事の保護者への情報提供 | 随時        |
| 地域人材活用による部活動の充実        | マラソン部2名活用 |
| 運動部の各種大会への積極的参加        | 10回以上     |
| 文化部や作業班による社会貢献活動への参加   | 4回以上      |

## カ 特別支援教育のセンター的機能

|                |                   |
|----------------|-------------------|
| 学校公開           | 2回実施 延べ参加人数480名以上 |
| 地域関係機関相談回数     | 40回以上             |
| 地域関係機関研修回数     | 30回以上             |
| 副籍交流の実施        | 130名以上            |
| 直接交流の実施        | 50名以上             |
| 就学前施設見学会の計画・実施 | 2回                |
| 教材展示会の実施       | 4回以上              |
| 本人講座の実施        | 3回                |
| ボランティア養成講座の実施  | 4回                |

## キ 学校経営・組織体制

|                                 |                  |
|---------------------------------|------------------|
| サービス事故・個人情報紛失事故                 | 目標0件             |
| 体罰・いじめ根絶のための研修会の実施              | 年3回以上            |
| 人権に則した呼称の徹底(全学部で「さん」付け)・指導姿勢の徹底 |                  |
| 学校評価アンケート保護者回収率                 | 80%以上            |
| 職員検診の受診率                        | 100%             |
| 「ライフ・ワーク・バランス」の実現               | 教員アンケート達成結果80%以上 |
| 学校ホームページ更新回数                    | 年間150回以上         |